

2020年9月2日

各位

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

戸田建設株式会社が発行する グリーンボンドの引受けについて

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社（取締役社長 荒木 三郎、以下当社）は、このたび、戸田建設株式会社（以下、戸田建設）が発行する3度目となるグリーンボンド⁽¹⁾「戸田建設グリーンボンド」（10年債100億円）の引受けにおいて事務主幹事およびグリーンボンド・ストラクチャリング・エージェント⁽²⁾を務め、本日、同グリーンボンドの条件が決定されましたことをお知らせします。

戸田建設は、「すべての事業活動を通じて、環境保全活動を展開する」という環境方針のもと、環境リスク低減に向けた活動と、より良い環境の創造に向けた活動に取り組んでいます。また、環境省より認定を受けたエコ・ファースト企業として、2030年および2050年に達成すべき環境目標「エコ・ファーストの約束」を掲げ、施工・設計・保有の各段階でのCO₂排出削減や建設廃棄物の削減にコミットしています。

本グリーンボンドは、適格性と透明性の確保および投資家への訴求力向上のため、グリーンボンド原則2018（ICMA）および環境省グリーンボンドガイドライン2020年版に則したフレームワークを策定し、世界的なESGにおける第三者評価機関であるサステイナリティクスより適合性に関するセカンドパーティ・オピニオンを、R&IよりR&Iグリーンボンドアセスメントの最上位評価である「GA1」をそれぞれ取得しています。また、環境省の2020年度グリーンボンド発行促進体制整備支援事業の補助金交付対象となっております。

当社は、金融機関として果たすべき社会的使命を自覚し、持続可能な社会の実現に貢献するための取組みを積極的に推進しており、環境分野においてもグリーンボンドの引受けをはじめ、社内の省エネ・省資源施策等を実施しています。

2006年に国連責任投資原則（PRI: Principles for Responsible Investment）が制定されて以来、世界のESG投資が拡大していることを受けて、資金使途を環境対策事業とするグリーンボンドや社会貢献事業とするソーシャルボンド、両方の特性を有するサステナビリティボンド等の発行は増加傾向にあります。引き続き、当社は、企業・経済の成長と社会・環境との両立の観点から、ESGをテーマとした債券の引受けを一層推進するとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

(戸田建設グリーンボンドの概要)

発行会社：戸田建設グリーンボンド
名称：第7回無担保社債（社債間限定同順位特約付）
取得格付：A-（R&I）
年 限：10年債
(2030年9月6日償還)
発行額：100億円
利率：0.480%/年
発行日：2020年9月8日
主幹事：三菱UFJモルガン・スタンレー証券、
みずほ証券、SMBC日興証券
資金使途対象：全額を戸田建設新本社ビル（仮称）新TODA BUILDINGに
プロジェクト 関する建設資金に充当予定

(1) 環境事業に要する資金を調達するために発行する債券。

戸田建設グリーンボンドは、国際資本市場協会（International Capital Market Association：ICMA）が定義する「グリーンボンド」の特性に従った債券である旨、第三者評価機関による評価を取得している。

(2) グリーンボンドのフレームワークの策定及びセカンドオピニオン取得の助言等を通じて、グリーンボンドの発行支援を行う者。